



Media Information

JAPAN TABLE TENNIS ASSOCIATION
〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館内
TEL 03-3481-2371 FAX 03-3481-2373

2016年5月20日
公益財団法人 日本卓球協会
(1枚目/全6枚)

2016 ITTF ワールドツアースーパーシリーズ ラオックス卓球ジャパンオープン荻村杯 取材申請登録開始のお知らせ

～取材される全員の方の申請をお願いいたします～

公益財団法人日本卓球協会は、2016年6月15日(水)～6月19日(日)の期間、東京体育館（東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1）にて開催する『2016 ITTF ワールドツアースーパーシリーズ ラオックス卓球ジャパンオープン荻村杯』について、同大会をご取材されるメディアの方を対象に、取材申請登録を開始いたしました。

所属媒体に関わらず、同大会をご取材予定のすべての方に事前のオンライン申請が必要となります。お手数をおかけいたしますが、下記記載事項および ITTF(国際卓球連盟)発行メディアガイドラインをご一読、内容についてご承諾のうえ、**6月5日(日)までに下記記載の専用 URL より申請のお手続きをよろしくお願い申し上げます。**

－ 記 －

【ラオックス卓球ジャパンオープン荻村杯 2016】

- 大会名称： 2016ITTF ワールドツアースーパーシリーズ ラオックス卓球ジャパンオープン荻村杯
- 大会期間： 2016年6月15日(水)～6月19日(日)
※大会前日の14日午後に組み合わせ抽選会(ドロウ)と開催記者会見を実施予定
- 会場： 東京体育館（東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1）
【アクセス】JR 総武線「千駄ヶ谷駅」/都営大江戸線「国立競技場駅」下車徒歩1分
- 競技種目：
 1. 男子シングルス
 - (合計6種目) 2. 女子シングルス
 3. 男子ダブルス
 4. 女子ダブルス
 5. 21歳以下男子シングルス
 6. 21歳以下女子シングルス
- 試合方法：
 - ・ 男女シングルス：トーナメント戦の7ゲームマッチ
 - ・ 男女ダブルス(男女とも最大16ペア)：トーナメント戦の5ゲームマッチ
 - ・ 21歳以下男女シングルス(男女とも最大32名)：トーナメント戦の5ゲームマッチ
- 大会公式特設サイト URL：
<http://japantabletennis.com/japanopen2016/>

■取材申請登録 URL：<http://bit.ly/1TgGTQD>

次ページへ続く



■ 大会スケジュール(予定)および撮影可否について

日程	種目・イベント名		時間	ニュース協会
6/14 (火)	公式練習 組み合わせ抽選会 開催記者会見		時間未定	NRH(ノンライツホルダー)撮影可
6/15 (水)	男女シングルス	予選 1 回戦	10:00~20:15 (予定)	試合会場スタンド 内 ENG カメラ位置 より NRH 撮影可 (フロアレベルは 不可)
	21 歳以下(U21)男女シングルス	1 回戦~2 回戦		
6/16 (木)	男女シングルス	予選 2 回戦	10:00~18:00 (予定)	※ただし、フロア レベルでのテレビ 東京代表取材を現 場分配予定
	男女ダブルス	1 回戦		
	U21 男女シングルス	準々決勝・準決勝		
6/17 (金)	男女シングルス	1 回戦~2 回戦	10:00~17:30 (予定)	※ただし、フロア レベルでのテレビ 東京代表取材を現 場分配予定
	男女ダブルス	準々決勝		
	U21 男女シングルス	決勝		
6/18 (土)	男女ダブルス	準決勝	10:00~13:00 (予定)	HB(ホストブロード キャスター)テレビ 東京より映像分配 有
	男女シングルス	準々決勝	13:00~21:00 (予定)	
6/19 (日)	男女シングルス	準決勝	10:00~14:00 (予定)	NRH 撮影可
	男女シングルス、表彰式	決勝	15:00~17:00 (予定)	
	記者会見			HB(ホストブロード キャスター)テレビ 東京より映像分配 有
	男女ダブルス、表彰式	決勝	19:00~20:30 (予定)	
	記者会見			

■ 申請される全ての皆様へ :

- ・ ITTF メディアガイドラインおよびフォトグラファーガイドラインを必ずご一読、ご了承のうえお申し込みください。また、大会期間中は同ガイドラインを厳守ください。
- ・ 所属媒体に関わらず、1 記者ごとに事前のオンライン申請が必要です。
- ・ 取材申請受付期間は、2016 年 5 月 20 日(金)~2016 年 6 月 5 日(日)です。
- ・ 申請期間締切以降の取材者の変更は原則として受け付けません。
- ・ 都合により取材をキャンセルする場合は必ず下記メールアドレスまで速やかにご連絡ください。
【Eメール】mediainfo@japantabletennis.com(担当:岩元)
- ・ 申請登録手続き後、ITTF の審査のうえ、承認/非承認をメールにてご連絡いたします。
- ・ 大会関連の会見ほかメディアイベントについては、詳細決定次第改めてお知らせいたします。

次ページへ続く



【ペン記者】

- ・ ペン記者がフォトグラファーやカメラマンと兼任しての登録や作業を行うことは出来ません。
- ・ ペン記者は、フィールドエリアに入ることは出来ません。
 - 活動エリア:メディアセンター、記者席、ミックスゾーン、記者会見場

【フォトグラファー】

- ・ フォトグラファーがペン記者と兼任しての登録や作業を行うことはできません。
- ・ フィールドにて撮影可能な人数に限りがありますので、試合テーブルごとにフィールド上でのフォトグラファー数を調整させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 記者席に余裕があり、他記者の視界の妨げが無い場合、記者席からの撮影は可能です。
- ・ フォトグラファーは、ミックスゾーンに入ることは出来ません。
 - 活動エリア:メディアセンター、フィールド、(座席に余裕がある場合)記者席、記者会見場※
 - ※ 記者会見場はイベント内容、メディアの人数等状況により時間を区切って入室し、撮影いただく場合があります

【スポーツニュース報道のテレビクルー】

- ・ 会場内での試合映像の撮影は、6月15日(水)～18日(土)男女ダブルス準決勝までは、スタンド内 ENG エリアより可能です。(ただし、フロアレベルでのテレビ東京代表取材を現場分配予定)また、18日(土)男女シングルス準々決勝～19日(日)大会終了までは試合映像の撮影は出来ません。(ホストブロードキャストのテレビ東京より在京ニュース協会加盟社へ現場分配予定。詳しくは2016年幹事社 TBS スポーツ局にご確認ください)
- ・ 試合映像の分配について、在京ニュース協会に加盟している系列以外の局については、6月10日(金)までに TBS スポーツ局までお問い合わせください。
- ・ 在日海外テレビ・ラジオ・動画撮影を希望されるメディアの皆様につきましては、海外での映像使用のルールに準じますので、必ず事前にラガデールスポーツ(Lagardere Sports)までお問い合わせください。
- ・ 大会前日の公式練習(時間未定)、組み合わせ抽選会および開催記者会見(6月14日午後を予定)、ミックスゾーン(大会期間中毎日)、決勝後の記者会見(各決勝終了後。ただし U21 決勝後は開催未定)の記者会見撮影は、撮影可能です。
- ・ 大会期間中は、系列局も含め 1 系列 1 クルーでの撮影・取材をお願いいたします。(申請は最大 12 名まで、当日の取材は記者を含め最大 8 名まで)
カメラについては、大きさ、種類を問わず 1 台を 1 クルー(デジも含みます)とみなします。
- ・ 技術アシスタントの方も含め、取材者全員の申請をお願いいたします。
 - 活動エリア:メディアセンター、ミックスゾーン、記者会見場

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ】

(公財)日本卓球協会 ラオックス卓球ジャパンオープン荻村杯 2016
大会メディア担当:岩元 mediainfo@japantabletennis.com

次ページへ続く



【ITTF (国際卓球連盟) メディアガイドライン(日本語訳)】

ITTF 主催イベントの開催を成功させるためには、メディアは非常に重要な存在です。

ITTF では、メディアの皆さんが素晴らしい雰囲気の中かで取材活動が出来るよう、ベストを尽くしたいと考えております。

一方で、競技者、観客、テレビ視聴者、そして大会を運営する人々、すべてにとって最高の大会とするために、皆様には本大会におけるメディアガイドラインを厳守いただくことをお願い申し上げます。

【フォトグラファー(Photographers)】

- ・ OC(大会主管組織委員会)から貸与されたフォトグラファー用のオフィシャルビブスを着用したフォトグラファーのみが、FoP への立ち入りを許可されます。
- ・ ウェルカムデスクにて、身分を証明できる ID (運転免許証・健康保険証等)をデポジットとしてお預かりしたうえで、ビブスを貸与いたします。なお、一日ごとにビブスはご返却ください。
- ・ いかなるフォトグラファーでも(AD を着用していたとしても)、オフィシャルビブスを未着用のまま FoP に侵入した場合は、速やかに退場を命じられます。
- ・ FoP にて撮影可能なフォトグラファーの人数には限りがあります。席は(ITTF、OC の定める)プライオリティーに基づき決定し、その後は基本的には先着順にて確保することができます。もし、定員に達し、FoP に入ることが出来ない場合は、ITTF より写真を提供いたします。なお、フォトグラファーは、プレストリビューン(記者席)から撮影することが可能です。
- ・ プロフェッショナルのカメラ機材を持つフォトグラファーに限りビブスの貸与が許可され、FoP にて撮影することができます。
- ・ FoP でのフォトグラファーは、テレビ視聴者や会場の観客から見られる場所での撮影となります。適切なドレスコード(襟付きのシャツまたはブラウス/長ズボンまたはスカート/スリッパやビーチサンダル等足を覆っていない靴は不可)を厳守ください。
- ・ 大会期間中、(テレビ中継やコート数によって日々変更が生じるため)フォトグラファー撮影位置図を掲示いたします。もしこれらの指定された場所以外で撮影を行った場合は速やかに FoP からの退場が命じられます。
- ・ FoP では、提供されたベンチに着席のうえ撮影を行ってください。もし、ベンチにスペースが無く、また、撮影エリアに余裕がある場合はお持ちのスツール/椅子をご使用ください。立ったままや、指定場所以外での撮影は禁じられています。
- ・ フォトグラファーはスピアのカメラ、レンズ以外、ラップトップやバッグなどを FoP へは持ち込むことはできません。
- ・ フォトグラファーは、タイムアウトまたはゲーム間のみ移動することが可能です。それ以外の移動は固く禁止します。
- ・ フラッシュの使用は固く禁じられています。
- ・ フォトグラファーはミックスゾーンへ入ることはできません。
- ・ 空席があり、他の視界の妨げにならない場合、プレストリビューン(記者席)からの撮影は可能です。
- ・ フォトグラファーは静止画のみの撮影が許可されており、ビデオ(動画)の撮影は禁止されています。
- ・ フォトグラファー用に、メディアセンターに機材を保管するためのロッカーが設置されています。

次ページへ続く



【ミックスゾーン(Mixed Zone)】

ミックスゾーンでの競技者やチームオフィシャルへの取材可能なカテゴリは以下の通り。
ミックスゾーンでは、下記記載の順に定められた位置で取材を行わなければなりません。

1. ホストブロードキャスター(以下、HB)
2. テレビ・ライツホルダー(以下、RH)
3. ITTF によるインタビュー
4. テレビ・ノンライツホルダー(以下、NRH)
5. ラジオ・ノンライツホルダー(以下、NRH)
6. ペン記者(Written Press)

【フィールド、試合、ミックスゾーンでの撮影権利について

(Filming Rights for Field of Play and MZ)】

ITTF 主催の世界大会での映像権利について、様々なカテゴリのテレビクルーが撮影するにあたり、可能 / 不可能に分けて明記しております。下記項目ごとに内容をご確認ください。

■ 全てのテレビクルーが撮影する権利を有するもの:

1. オフィシャルドロワー後および主要な試合の後に行う公式記者会見
※撮影は必ず記者会見室のバックドロップ前にて行われなければなりません
2. ミックスゾーンでのインタビュー
3. インタビュールームでの個別インタビュー

NRH が FoP において試合を撮影することは出来ません。

試合映像のフッター利用を希望する場合は、ITTF メディアライツホルダーを管理する Lagardere Sports の許可が必要です。

ITTF スタッフが Lagardere Sports の担当者を紹介いたしますので、ITTF までお問い合わせください。

(ただし、日本国内の NRH については、この限りではありません。メディア申請案内をよくご確認のうえ、ご不明点につきましては、2016 年在京ニュース協会幹事社 TBS スポーツ局までお問い合わせください)

■ ライツホルダーが撮影する権利を有するもの

1. FoP での試合映像。ただし、HB が制作する国際配信映像制作を妨げないこと。
2. 試合前のウォーミングアップ、プレゼンテーションセレモニーを含む、試合映像
3. 個別インタビュー (a. オフィシャルドロワー後 / b. 記者会見後)
4. トレーニングホールでのトレーニング
5. 表彰式

RH のみが FoP において試合、ウォーミングアップ、トレーニングホールでのトレーニングを撮影することができます。

未許可にて撮影を行った場合は、いかなる理由においてもメディアア krediteーションをはく奪いたします。

次ページへ続く



【メディアセンターおよびプレストリビューン[記者席](Media Centre and Press Tribune)】

- ・ メディアア krediyation を持つメディアのみが、メディアセンターに入ることが許可されており、メディア以外の方をメディアセンターに入室させることはできません。
- ・ メディアセンターは仕事をするための場所です。周囲に迷惑をかけるような騒音を起こさないようにご配慮ください。
- ・ フォトグラファー用に、メディアセンターに機材を保管するためのロッカーが設置されています。

【その他(General)】

- ・ テレビ、ラジオ、記者によるインタビューは、試合後のミックスゾーンならびにインタビュールームでの記者会見時のみとなります。
- ・ 競技者との個別インタビューを希望する場合は、必ず OC のメディアチームまたは ITTF のメディア担当者にお問い合わせください。ミックスゾーンや記者会見以外で、競技者に接触することは認められておらず、個別のリクエストは OC または ITTF を通して調整されます。
- ・ OC のメディアチームが、フォトグラファーの撮影位置や各質問についてお受けいたします。
- ・ 写真の提供、選手のコメント、試合結果やデータ、一般的な質問などありましたら、OC メディアチームまたは ITTF メディア担当までお気軽にお問い合わせください。喜んでお手伝いします。

ご不明点がございましたら、ITTF プロモーション&メディアマネージャー、Matt Pound までお気軽にお問い合わせください。 mpound@ittfmail.com

以上